



受賞の報告に訪れた長谷川さん(左)と妻のゆき子さん

地域振興への功績をたたえる

元町議会議長の長谷川與一さんに旭日双光章

秋の叙勲で旭日双光章を受賞した長谷川^{よいち}さんは11月7日、町役場を訪れ、大川原久夫副町長に受賞を報告しました。

長谷川さんは昭和59年に町議会議員に初当選し、平成24年まで7期28年間議員として活躍。平成18年から2年にわたり議長に就任し、地域の振興に尽力しました。長谷川さんは「28年間、町議会議員として微力ながら町政発展に尽くしました。受賞は大変名誉なことで光栄です」と話しました。

感謝を込めて6年生が最後の演奏

長瀬小マーチングバンド移杖式

長瀬小マーチングバンド^{いじょうしき}移杖式は11月18日、カメリーナで行われ、メンバーの見事な演奏・演技に会場を訪れた保護者らから盛んな拍手が送られました。移杖式では、バンドマスターの佐藤真央さん(6年)が「3、4、5年生は、多くの人に支えられていることを忘れずにこれからも頑張ってください」とあいさつ。カラーガードの瀧口蓮己さん(6年)が安中凛^{りん}さん(5年)に指揮杖を手渡し、他のメンバーも後輩たちに楽器を託しました。



見事な演奏・演技を披露する長瀬小の児童たち



神事を執り行う関係者ら

磐梯山の恵みに感謝

磐梯山周辺観光推進連絡協議会が感謝登山式典

磐梯山感謝登山式典は11月11日、ISKで行われ、関係者ら約30人が出席しました。式典では神事を執り行い、磐梯山への感謝を伝えるとともに、山の安全を祈りました。大川原久夫副町長が「1～10月末まで登山者数は32,700人となり、昨年よりも約2,200人増加した。山岳事故防止のため、引き続き関係機関のご協力をお願いします」と式辞を述べました。なお、予定されていた清掃登山は、悪天候のため中止となりました。

補助犬の理解を深める

補助犬受入れセミナー

補助犬受入れセミナーは11月18日、町農業環境改善センターで開かれ、町内の事業者や関係団体など約30人が参加しました。日本盲導犬協会スマイルワン仙台の奥澤優花さんが身体障害者補助犬法の概要や各施設での補助犬受入れのポイントなどを説明。セミナーには、仙台市内で盲導犬として活躍するラブラドルレトリバーのハート君(オス・2歳)も同行しました。参加者は、補助犬の対応方法などについて理解を深めました。



補助犬受入れのポイントを説明する奥澤さん



八子弥寿男理事長から表彰を受ける鈴木日奈子さん(吾妻小4年)



受賞した作文を朗読する小坂橋梨音さん(猪苗代中2年)

小中学生の栄誉をたたえ

野口英世博士顕彰行事授賞式

第55回野口英世博士顕彰記念作文コンクール、第22回野口英世博士少年科学賞の授賞式は11月9日、野口英世記念館至誠館で行われ、受賞者をたたえました。

受賞者は次のとおりです(敬称略)。

【作文コンクール】

◇小学校の部▶特選＝鈴木日奈子(吾妻)▶金賞＝中田ことは(猪苗代)古川唯斗(翁島)大束洗人(猪苗代)▶銀賞＝笠間泰世(千里)鈴木愛琉(長瀬)渡部響子(緑)

◇中学校の部▶特選＝小坂橋梨音(猪苗代)▶金賞＝佐藤天音(東)遠藤花(猪苗代)▶銀賞＝菅沼朱響(猪苗代)藤田愛花(吾妻)

【少年科学賞】

◇小学校の部▶最優秀賞＝小澤優真、筑井雅子、國井結以、長谷川琴音(長瀬)▶優秀賞＝小林花帆(猪苗代)鈴木理心(吾妻)小林久也(猪苗代)鈴木日奈子(吾妻)高木沙也(猪苗代)

◇中学校の部▶最優秀賞＝小野木滉馬(猪苗代)▶優秀賞＝菅野実咲(猪苗代)大坂憲裕(東)藤田愛花(吾妻)渡部拓真(東)



前後町長から賀寿を受ける長谷川さん(右)

長谷川ヨシオさんが100歳に

長寿を祝い、知事賀寿などを贈呈

11月20日に100歳の誕生日を迎えた長谷川ヨシオさん(渋谷)への賀寿贈呈式は11月21日、いなわしろホームで行われ、家族らが長寿を祝いました。会津保健福祉事務所の角田祐喜男健康福祉部長が知事賀寿と会津漆器の木杯を贈呈。続いて前後公町長が賀寿と記念品などを贈りました。娘の高子さんは「母の長寿の秘訣はご飯をしっかり食べること。民謡が好きで時々口ずさんでいます。これからも元気で長生きしてほしいです」と話しました。

自宅を離れて社会性を育む

国立磐梯青少年交流の家通学キャンプ

国立磐梯青少年交流の家通学キャンプは11月6日から12日までの7日間、同所で行われ、町内の小学校4～6年生の児童44人が参加しました。通学キャンプは、放課後の共同生活を通じて基本的生活習慣を確立し、社会性を育成することを目的に実施。歴史やデザインなどを学びながら、他校の児童らとの交流を深めました。長瀬小4年生の高橋樹香^{きこう}さんは「デザイン教室で、みんなで意見を出し合ったのが楽しかったです」と話しました。



自動車の新しいデザインについてグループで話し合う児童



作品を紹介する渡部知治監督(右から2人目)ら

町の魅力を15秒CMで表現

ふくしまの元気！応援CM大賞審査会

福島放送「ふくしまの元気！応援CM大賞2016」の審査会は11月27日、郡山市の郡山女子大で開かれました。コンテストには県内29市町村が参加。15秒のCMを通じて地域の魅力や元気を発信することを目的として実施されています。

本町からは町商工会青年部が観音寺川の桜並木のライトアップをテーマにした「七色変身いなわしろ」の作品で参加。審査会の模様は、12月24日午後2時15分から福島放送で放映されます。

野口英世博士の誕生を祝う

野口英世博士誕生祭

世界的な医学者、野口英世博士の第140回誕生祭は11月9日、野口英世至誠館で行われました。野口家の菩提寺である長照寺の楠俊道住職による読経の後、関係者らが献花をしました。

野口英世記念会の八子弥寿男理事長が「野口博士の功績を後世に伝えていきたい」とあいさつ。土屋重憲教育長、後藤公男町議会副議長が祝辞を述べました。また、翁島小学校の4年生が唱歌「野口英世の歌」を披露しました。



「野口英世の歌」を披露する翁島小4年生児童

磐梯山噴火を想定し訓練

磐梯山火山防災連絡会情報受伝達訓練

猪苗代、磐梯、北塩原の3町村で構成する磐梯山火山防災連絡会の情報受伝達訓練は11月11日、各町村役場で行われました。訓練は、磐梯山の火山活動が急激に活発化し、仙台管区气象台から噴火警報(噴火警戒レベル4、避難準備)が発表されたことを想定して実施。県から連絡を受けた担当者らが各町村長に報告し、前後公町長、五十嵐源市町長、小椋敏一村長がテレビ会議により住民や登山者への情報伝達方法などを確認しました。

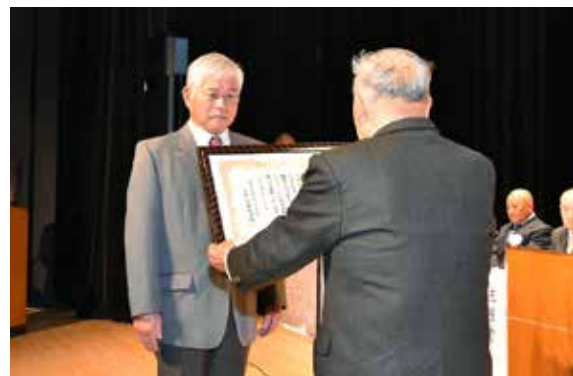


テレビ会議で対応を協議する前後町長

今後もますますのご活躍を

学びいなで高齢者福祉大会を開催

第47回町高齢者福祉大会は11月10日、学びいなで開かれました。役員表彰では14人が表彰され、受賞者を代表して西久保五月会の渡部巧さんが町老人クラブ連合会小木良司郎会長から表彰状を受けました。また、しあわせ金婚夫婦表彰では、13組を代表して樋ノ口銀杏会の渡部義久さん、信子さん夫婦に表彰状が手渡されました。式典後は、各地区の老人クラブ会員らが歌や踊りなどのアトラクションを披露し、来場者を楽しませました。



小木会長から役員表彰を受ける渡部さん(左)



1_ 光の当て方やカメラの位置によって写真の出来上がりが変わることを子どもたちに丁寧に教える野口さん 2_ リハビリの仕事を経験する子どもたち 3_ 大工の仕事では木材をのこぎりで切ったりくぎを打ったりして道具に親しんだ 4_ ライターの仕事では新聞記者になりきって取材に挑戦。相手の好きな食べ物や得意教科などを聞いて、写真を撮り、子ども新聞にまとめた



小学生が仕事体験

いなわしろワクワクおしごとたいけん

「いなわしろワクワクおしごとたいけん」は11月23日、国立磐梯青少年交流の家で開かれ、子どもたちが消防士や大工などさまざまな仕事を体験しました。地域に根差した職業を体験してもらおうと、猪苗代青年会議所が主催しました。写真家の野口勝宏さんから写真の撮り方を教わった猪苗代小6年の小林優萌さんは「写真がぼやけてしまい、難しかったです」と感想を話しました。



ひまわりこども園に絵画寄贈

細木久慶さんが花の絵を寄贈

画家の細木久慶さん(東京都)の絵画贈呈式は10月31日、ひまわりこども園で行われました。絵画にはひまわりなどの花が描かれており、細木さんはこれまでも震災復興の応援のため、町に絵画作品を寄贈しています。細木さんは「ひまわりが好きでよく描いています。子どもたちが絵を親しむよう、今後、親子絵画教室を開きたいです」と話しました。

作品は、ひまわりこども園玄関ホールに展示されています。



絵画を寄贈した細木さん(後列中央)

町内の絶品スイーツを満喫

猪苗代スイーツフェスタ

第4回猪苗代スイーツフェスタは11月19日、猪苗代スキー場ミネロセンターハウスで開かれ、約300人の来場者が町内のスイーツを味わいました。イベントには町内の11店舗が参加。会場には和菓子や洋菓子などさまざまなスイーツが用意され、来場者は各店舗から1個、合計11個のスイーツを味わいました。

当日は、お菓子作り体験やあめ細工の実演、音楽ユニット「Ciel」による生演奏なども行われました。



用意されたスイーツを選ぶ来場者